

# VJ-1324 取扱説明書 正誤表

取扱説明書の記載内容の一部に変更があります。下表を参照のうえ、ご確認ください。

## 注 記

- 本書の記載内容は、ファームウェア Ver.3.04 以降の仕様に準拠しています。

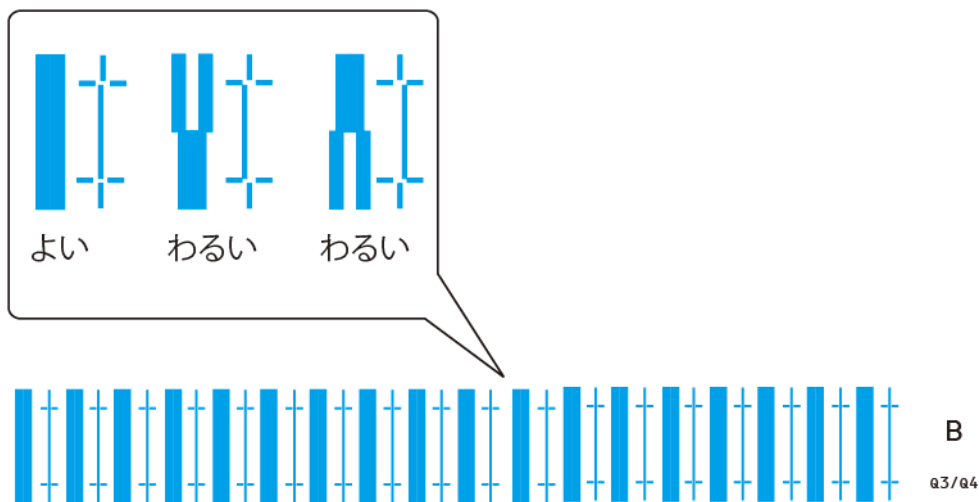
章	該当箇所	変更内容	改訂履歴
3 章	3.5.1「ノズルチェック」	ノズルチェックパターンの横に、プリンタ情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。	04c
	3.6「画質調整」を修正	3~4 ページ参照	04b
4 章	4.2.6「用紙送り補正」を修正	4~5 ページ参照	04b
5 章	5.1.1.1「ユーザ定義メニュー」を修正	6 ページ参照	04b
	5.1.1.1.9「メディア厚さメニュー」を追加	6 ページ参照	04b
	5.1.1.1.10「ユーザコピーメニュー」を追加	7 ページ参照	04b
	5.1.6.2「ページ間余白メニュー」を追加	7 ページ参照	04b
	5.1.17.2「作画停止メニュー」を追加	8 ページ参照	04b
	5.1.17.3「ニアエンドメニュー」を追加	8 ページ参照	04b
	5.1.25「ヘッダーダンプメニュー」を追加	9 ページ参照	04b
	5.1.25「ヘッダーダンプメニュー」を変更	9 ページ参照	04c
	5.1.26「スタートフィードメニュー」を追加	10 ページ参照	04b

	5.1.27「ヒーターコントロールメニュー」を追加	10 ページ参照	04b
	5.1.28「警告ブザーメニュー」を追加	11 ページ参照	04c
6 章	6.3「廃液の処理」を修正	12 ページ参照	04a
9 章	9「設定メニュー構成図」を修正	13~16 ページ参照	04c

### 3.6 画質調整

下記の変更があります。

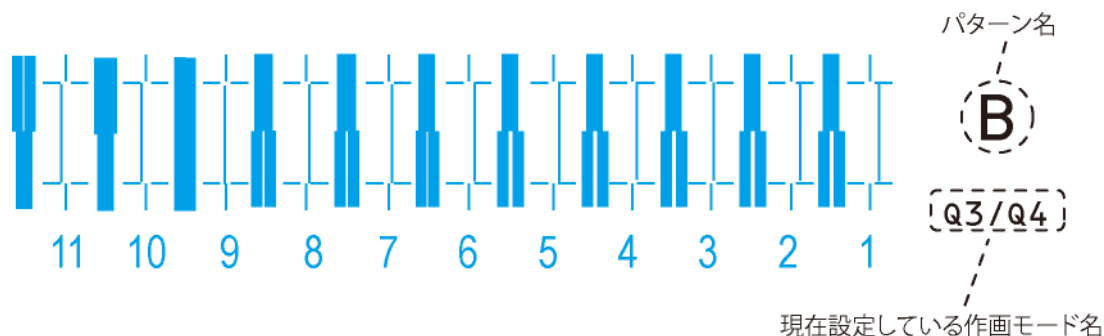
- メディア厚さの入力が追加されました。  
「\*\*>2: チョウセイサクガ>」を選択して[>]キーを押すと、「メディアアツサ 170 $\mu$ m」と表示します。ここで、操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して、使用するメディアの厚さを 80 $\mu$ m~2800 $\mu$ mの範囲で入力し、[Enter]キーを押してください。後の操作は同じです。
- 確認パターンと調整パターンが変更されました。
  - 直線にズレがない番号は、その左隣の太線に白い縦線がありません。



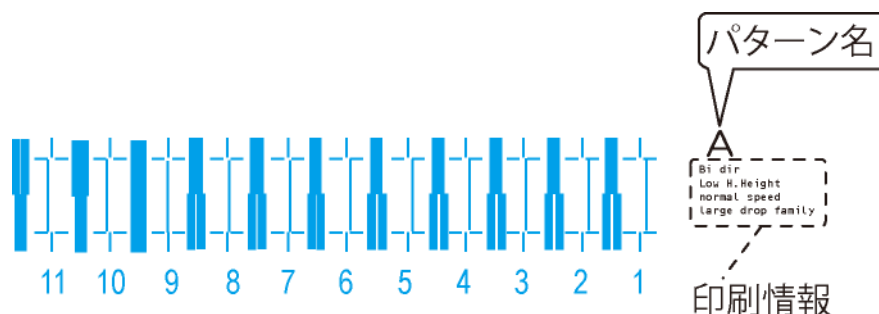
- Custom 粗調整パターンでも、個別にパターン調整ができるようになりました。  
「チョウセイサクガ 2: Custom」で[Enter]キーを押した後、「ソチョウセイパターン A」～「ソチョウセイパターン F」から選択してください。「ソチョウセイ ALL」はすべてのパターンを調整できます。

- 調整パターンの右側に情報が追加されました。

**Standard 調整パターンの例**



**Custom 調整パターンの例**



### 4.2.6 用紙送り補正

(手順 7 以降変更)

7. 微調整作画を行います。

- 手順 1 と同様に、操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
- 操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して、「ホセイ 4 : ヒ` チョウセイサクカ`」を選びます。
- 操作パネルの[Enter]キーを押します。
  - 操作パネルに「ウォームアップ` チュウ スキップ` →E」が表示されます。

**▲ 注意**

- 「ウォームアップ` チュウ」表示のときは、プラテンおよび用紙ガイドに触れないでください。高温になるため、やけどのおそれがあります。

**注 記**

- ウォームアップ中に作画を開始することができます。

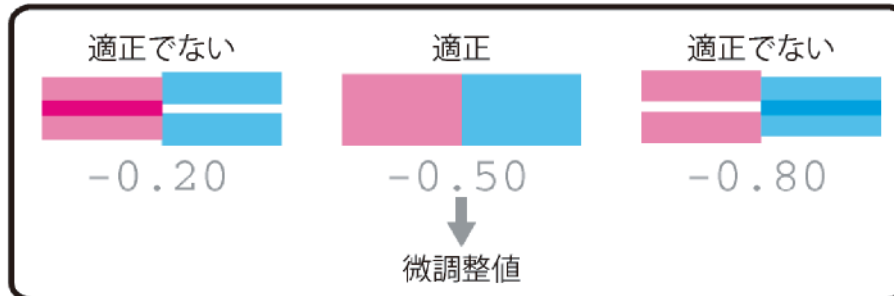
取扱説明書「4.4.7 ウォームアップ中の作画開始」

- 操作パネルに「テ` ータサクカ` チュウ」と表示されます。

(ウォームアップ完了後に作画を開始します)

- 微調整作画を開始します。  
微調整作画が終了すると、操作パネルに「ホセイ 4 : ヒ` チョウセイサクカ`」と表示されます。

- ・ パターンを見て、微調整値を確認します。  
パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。  
そのパターンの下にある数字が、最適な微調整値です。



- ・ 微調整作画が終了すると、操作パネルに「ヒ` チョウセイチ : 0.00%」と表示されます。

#### 8. 微調整値を設定します。

- 操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して、手順7の作画結果に従って微調整値を入力します。
- 操作パネルの[Enter]キーを押します。
  - ・ 微調整値が保存されます。(保存した調整値が、パターンの基準値になります。)
  - ・ 操作パネルに「ホセイ4 : ヒ` チョウセイサクカ`」と表示されます。
  - ・ 用紙送り補正値の調整を終了します。

### 5.1.1.1 ユーザ定義メニュー


下記を、表中の「吸着ファン」の下に追加してください。

設定項目	設定値	内容
Type 1 ~Type 30	メディア厚さ	使用する用紙の厚さを設定します。 ・ [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。
	ユーザコピー	現在選択されているユーザ定義について、その設定値を別のユーザ定義に一括してコピーします。 ・ [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。


#### 5.1.1.1.9 メディア厚さメニュー

使用する用紙の厚さを設定します。

メディア厚さを入力すると、画質が自動的に調整されます。

設定項目	設定値	内容
メディア厚さ	80 $\mu\text{m}$ ~ <170 $\mu\text{m}$ > ~2800 $\mu\text{m}$	10 $\mu\text{m}$ 単位で、使用する用紙の厚さを入力します。
	-	・ [Enter]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [Cancel]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ定義 詳細設定メニュー


#### 注 記

- 本メニューは、ある程度の画質調整を自動で行うためものです。より画質を高めたい場合は、画質調整を手動で行ってください。 3.6 画質調整
- メディア厚さを設定せずに画質調整を行っても問題ありません。

### 5.1.1.1.10 ユーザコピーメニュー

現在選択されているユーザ定義について、その設定値を別のユーザ定義に一括してコピーします。以下の設定値がコピーされます。



- ・ 作画モード
- ・ エフェクト
- ・ 調整作画の調整値
- ・ 送り補正（初期調整作画長、初期調整値、微調整値）
- ・ プリ/ プラテン/ アフターヒーター
- ・ 吸着ファン
- ・ メディア厚さ

設定項目	設定値	内容
ユーザコピー	<1> ~ 30、ALL	・ 現在のユーザ定義の設定値を、選択したユーザ定義にコピーします。
	ユーザ定義が1の場合： <2> ~ 30、ALL	・ ALLを選択した場合は、現在のユーザ定義の設定値を、他のすべてのユーザ定義にコピーします。
	-	・ [Enter] キー：コピーを実行し、前階層のメニューに戻ります。 ・ [Cancel] キー：コピーを実行せず、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ定義メニュー

### 5.1.6.2 ページ間余白メニュー

排紙モード設定を「巻取り」に設定すると、ページ間余白メニューに移行します。

ページ間余白メニューでは、印刷結果どうしの間余白を変更できます。




設定項目	設定値	内容
ページ間余白	<通常>	作画間の余白を変更しません。
	狭い	作画間の余白が「通常」よりも狭くなります。
	-	・ [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューへ進みます。  「5.1.6.1 インク乾燥時間メニュー」 ・ [Cancel] キー：設定値を取り消し、前階層のメニューに戻ります。  「5.1.6 排紙モードメニュー」

### 5.1.17.2 作画停止メニュー

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになったときに、「ロールシ ザンリョウ エラー」を表示して印刷を停止するかどうかを設定します。



**注 記**

- ・通常はロール紙が終わるとリアセンサーで検出されるため、「Off」設定で問題ありません。
- ・使い切った時に紙管から紙が離れにくいタイプのロール紙だと、作画停止メニューを「Off」に設定していると、ロール紙が終わったときに印刷が停止しないことがあります。そのような場合は、「On」に設定してください。
- ・作画停止メニューを「On」に設定していて、「ロールシ ザンリョウ エラー」や「ロールシ ニアエンド」が発生している場合、新しいロール紙に変更後に用紙セットレバーを下げるとロール紙の長さ設定メニューが表示されます。セットしたロール紙の長さを入力してください。

設定項目	設定値	内容
作画停止	<Off>	印刷の停止判定にロール紙の残量カウントを使用しません。リアセンサーが反応した場合に印刷が停止します。 ・ [Enter]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに進みます。  取扱説明書「5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー」
	On	リアセンサーが反応しない場合でも、ロール紙の残量カウントがゼロになると印刷を停止します。 ・ [Enter]キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。  取扱説明書「5.1.17.3 ニアエンドメニュー」
	-	・ [Cancel]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  取扱説明書「5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー」

### 5.1.17.3 ニアエンドメニュー

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さがゼロになる前に「ロールシ ニアエンド： \*m」（\*は1～10の数字）を表示させることができます。

設定項目	設定値	内容
ニアエンド	<Off>	「ニアエンド」を表示しません。
	ノコリ 10m～1m	長さを選択すると、ロール紙の残量カウントがその長さになった時に「ニアエンド」を表示します。
	-	・ [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  取扱説明書「5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー」 ・ [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  取扱説明書「5.1.17.2 作画停止メニュー」




## 5.1.25 ヘッダーダンプメニュー

作画データについて下記の情報（ダンプデータ）を印刷するかどうかを設定できます。

- ・ データヘッダー
- ・ データドット数（ヘッダーダンプ設定が“オン”設定時のみ印刷します）
- ・ プリンタシリアルナンバー
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ データ受信時間
- ・ データ受信サイズ


### 注 記

- ・ ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。
- ・ コンピュータと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。

設定項目	設定値	内容
ヘッダーダンプ	<オフ>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作画データのみを印刷します。</li> <li>・ ダンプデータは印刷しません。</li> </ul>
	オン	作画データを印刷後、ダンプデータを印刷します。
	ダンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダンプデータのみを印刷します。ただし、ダンプデータの「データドット数」は印刷しません。</li> <li>・ 作画データは印刷しません。</li> </ul>
	インサツ	<p>前回印刷したダンプデータを印刷します。</p> <p>ダンプデータの履歴が無い場合は、「データが アリマセン」と表示されます。</p>
	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Enter]キー：設定値を保存し、前階層のメニューに移行します。</li> <li>・ [Cancel]キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。</li> </ul> <p> 取扱説明書「5.1 設定メニュー」</p>


### 5.1.26 スタートフィードメニュー

スタートフィードを設定しておく、印刷前にメディアの巻き戻しや送り出しを、設定値の長さだけ行います。

設定項目	設定値	内容
スタートフィード	-10mm～<0mm>～500mm	印刷前のメディアの巻き戻し量や送り出し量を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・値が 0 以上：送り出しを行います（印刷開始前の余白が多くなります）。</li> <li>・値が 0：巻き戻しも送り出しも行いません。</li> <li>・値が 0 以下：巻き戻しを行います。</li> </ul>
	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。</li> <li>・ [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。</li> </ul>  「5.1 設定メニュー」


#### 注 記

- 巻取り装置をご使用の場合に「スタートフィード」を 0 未満に設定するときは、「ページ間余白」メニューを「狭い」に設定してください。「通常」のままだと、「スタートフィード」での設定値が正しく反映されません。

 「5.1.6.2 ページ間余白メニュー」

### 5.1.27 ヒーターコントロールメニュー


印刷時にメディアが熱により波打つときは、ヒーター動作の設定を変更すると、軽減できる場合があります。

設定項目	設定値	内容
ヒーターコントロール	<通常>	通常のヒーター動作です。メディアの波打ちが発生しない場合は、この設定をご使用ください。
	速い	作画開始時間を短縮し、メディアの波打ちを抑えたい場合は、この設定をご使用ください。
	波打ち	巻取り装置使用時に、作画結果の乾燥性は落とさず、メディアの波打ちを抑えたい場合は、この設定をご使用ください。
	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。</li> <li>・ [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。</li> </ul>  「5.1 設定メニュー」

### 5.1.28 警告ブザーメニュー

エラーが発生したときの警告ブザーの動作を設定します。

「オフ」に設定することで、夜間に印刷するときなど、プリンター操作を行う人がいない場合に、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。

設定項目	設定値	内容
警告ブザー	<オン>	操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音が止まります。 初期設定では、この設定です。
	オフ	ブザー音が複数回鳴ると、キー操作を行わない場合でも、ブザー音は自動的に止まります。
	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。</li> <li>・ [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。</li> </ul>  「5.1 設定メニュー」

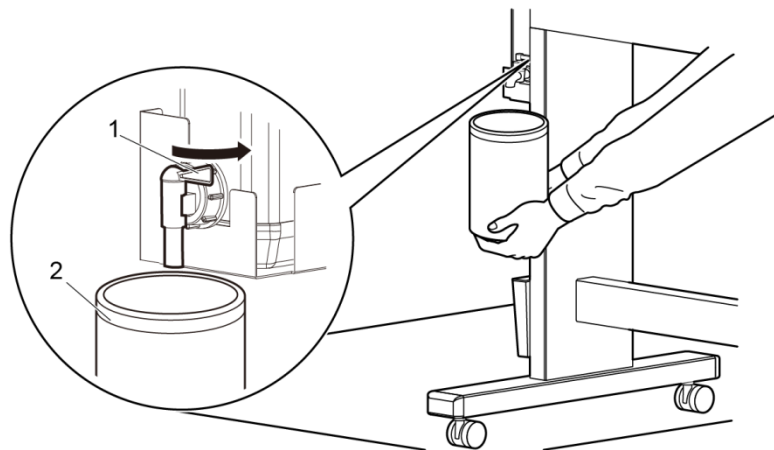
## 6.3 廃液の処理

※手順 3、手順 4 のイラストを訂正。

3. 廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。

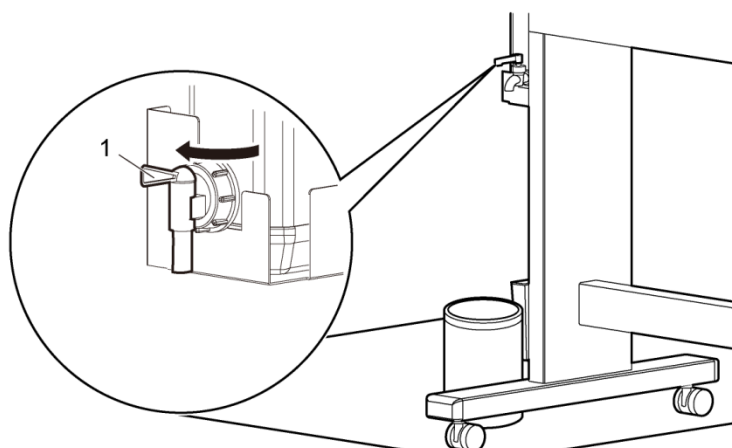
### 注 記

- ・ 廃液コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛散することがあります。  
空容器を廃液コックに近付けて処理を行ってください。



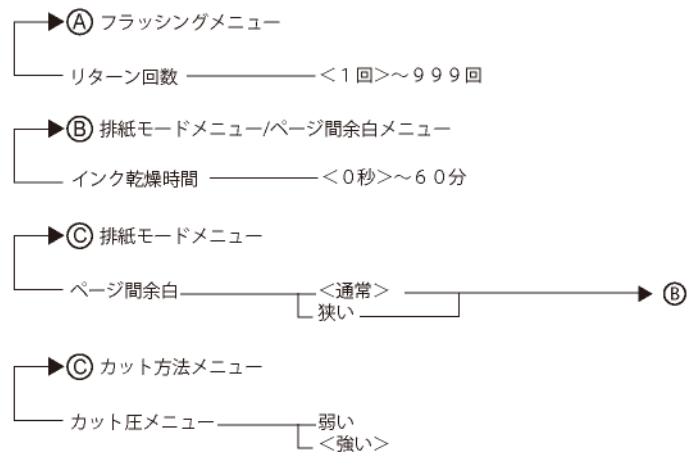
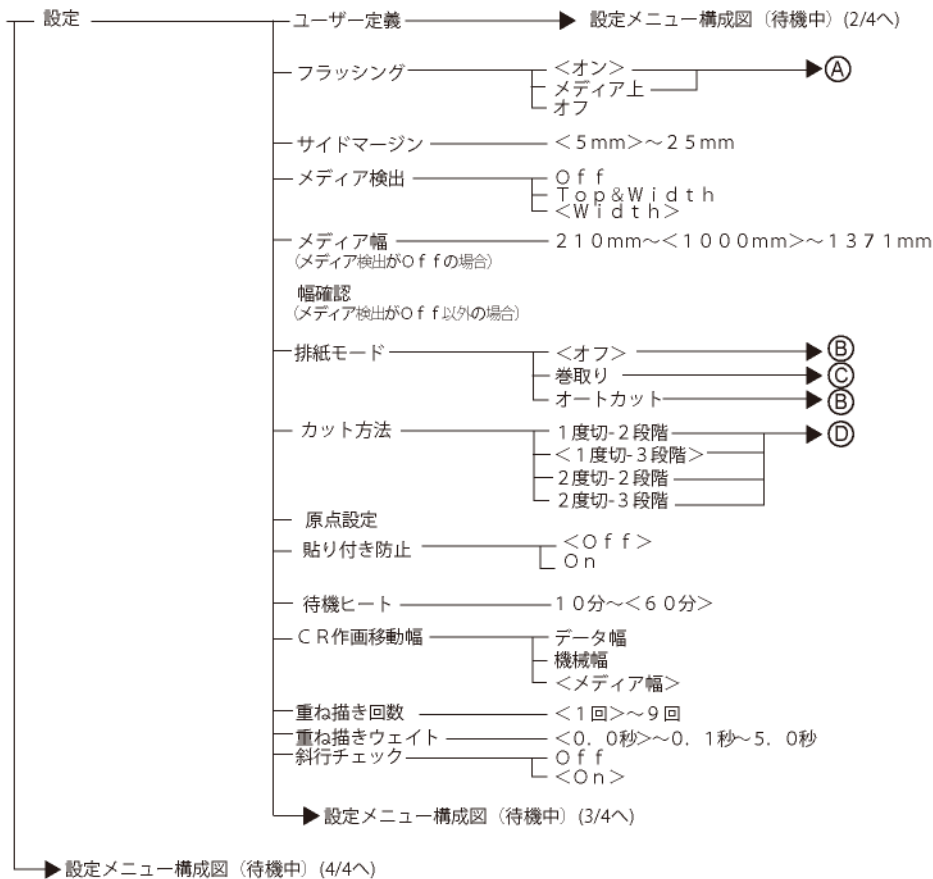
番号	名称
1	廃液コック
2	空容器

4. 廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。

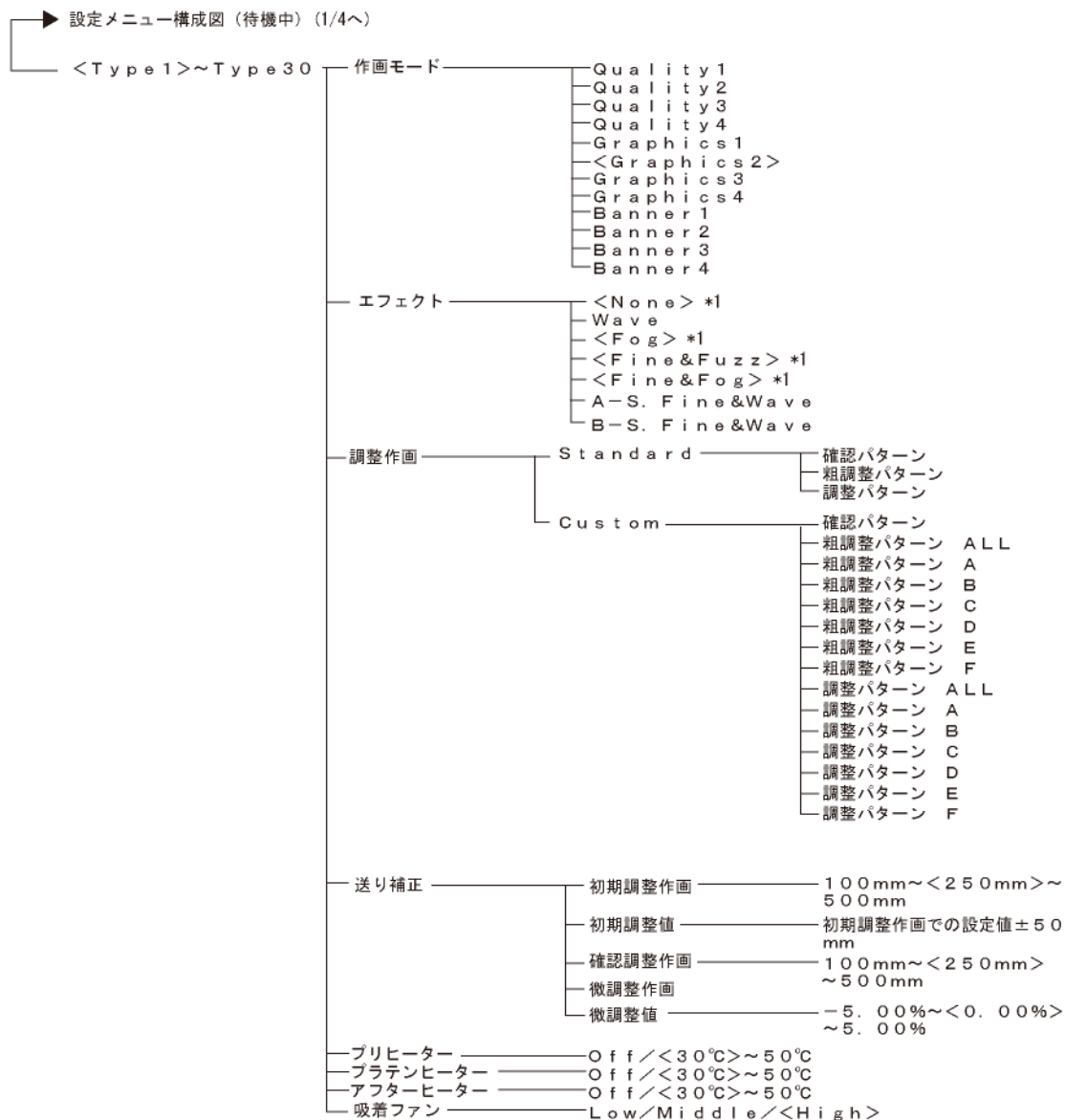


番号	名称
1	廃液コック

# 設定メニュー構成図（待機中）（1/4）



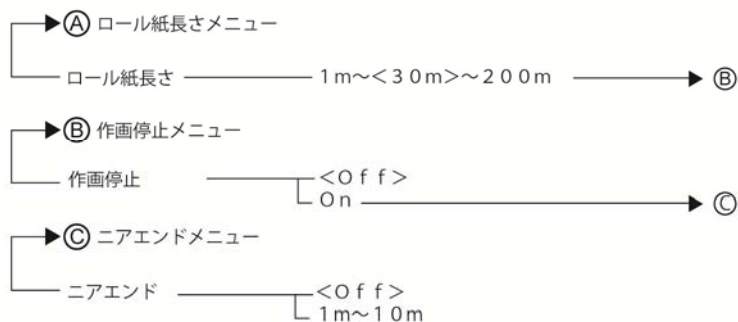
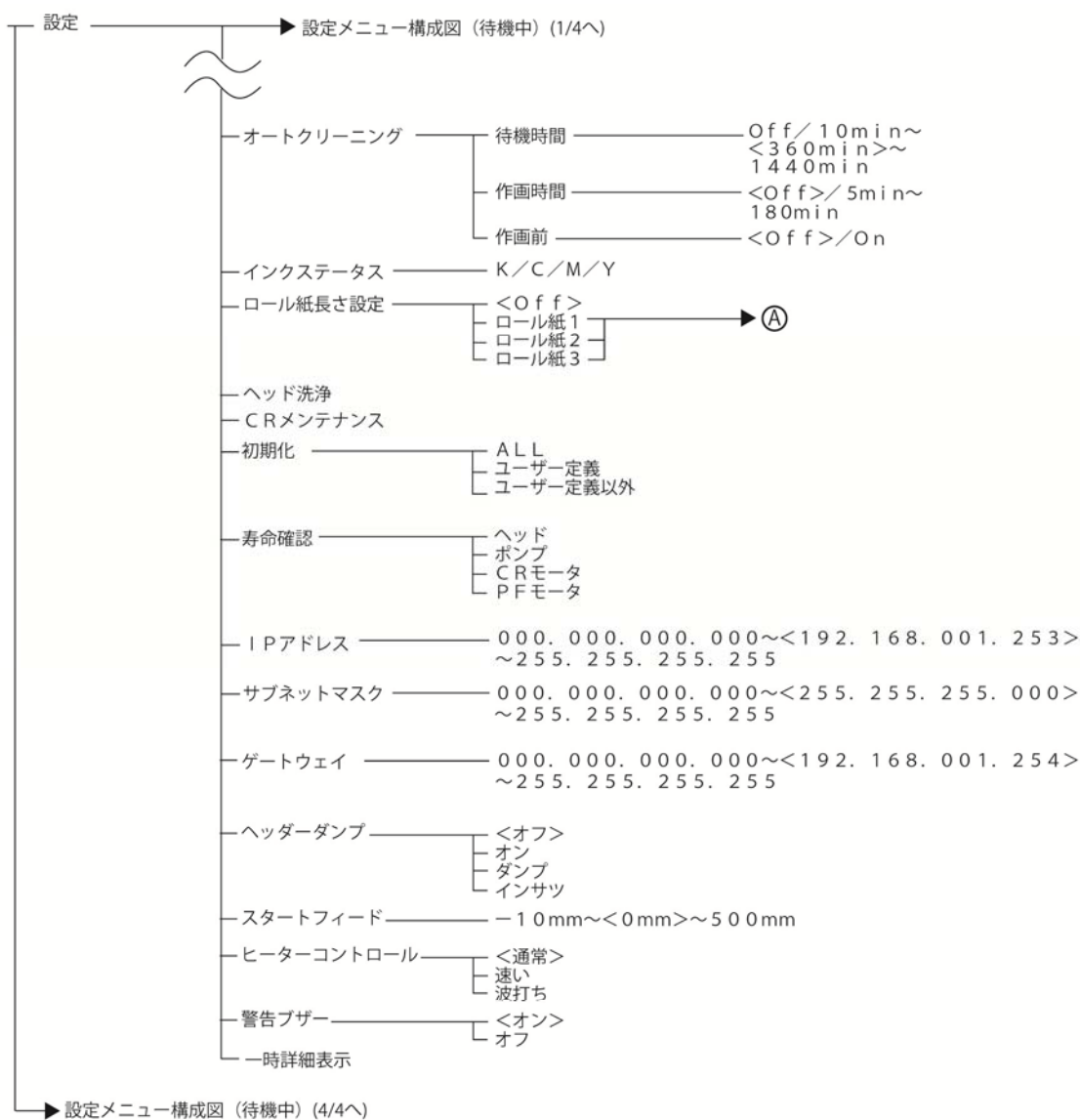
# 設定メニュー構成図（待機中）（2/4）



\*1:初期値は作画モードによります

作画モード	エフェクト初期値
Quality 1~4	Fine&Fuzz
Graphics 1~2	Fine&Fuzz
Graphics 3~4	Fine&Fog
Banner 1~2	Fog
Banner 3~4	None

# 設定メニュー構成図（待機中）（3/4）



# 設定メニュー構成図（待機中）（4/4）

